

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 104 2012.11.18 連絡先 402-1622 >

## 800人参加で元気な演説会

11月6日、総選挙での「650万票獲得、議席倍増」をめざし、日本共産党演説会が開かれました。小池晃政策委員長、清水ただし衆院比例予定候補、くにしげ秀明衆院和歌山1区予定候補がそれぞれ訴えました。

小池さんは、野田首相が所信表明で「明日の安心」をくり返しながら「今日の不安」をどうするかは言わなかったと切り出しました。その後赤旗号外を示しながら、4つの分野での日本改革のビジョン（即時原発ゼロへ・消費税に頼らない別の道へ・安保なくし対等の日米関係へ・領土問題は歴史的事実を道理にたって外交交渉で解決を）について、わかりやすく語りました。そして、石原新党や維新の会は、政治の中身は決して新しくないこと、日本の抱えている課題を国民の立場で改革できないことを指摘。日本共産党と市民の共同で新しい政治をつくって行こうと呼びかけました。

また、わかやま農業協同組合から初めて寄せられたメッセージが紹介され、「TPP参加は我が国の社会経済システムや農業を壊滅させ、食料安全保障を放棄し、安心・安全な国民の暮らし、医療など我が国の根幹にかかわる制度を崩壊させることになり、断じて認められません」「近いうちに実施される衆議院選挙では、政権選択と併せて、TPP参加、脱原発の是非を争点にしていかねばなりません」「共通する要求実現のため、貴会のご活躍と、ますますのご発展を期待しております」との内容に、会場は拍手で包まれました。

みち子のひとりごと

### 目玉おやじ

以前、やさしい歯医者さんを教えて下さいとお願したところ、10件近い歯医者さんを教えていただきました。ありがとうございます。長く通うだるうことを考えて、その中で家から一番近いところに通います。

つけた時は、見つけられた時は、思わず噴き出し、そのからくりがわかって納得、遠くにある丸いタンクに、手前の駐車禁止の標識がちょうど重なっているのです。前後1mでもずれるとこのようには見えません。写真より、生の方がよりリアルです、ぜひ場所を探してみてください。

げげげの鬼太郎でおなじみの「目玉おやじ」が現れました。朝の運動中、ずっと気になっていました。せせらぎ公園の「ある」場所からだけ見えるのです。見



## 貧困の連鎖を断つために

日時 12月7日(金)  
会場 19:00 開演 19:30

場所 中央コミュニティセンター  
3階 多目的ホール(大)

講演者 岩重佳治 先生  
(プロフィール)

1958年生まれ。弁護士。

もともと、多重債務問題の取り組みからスタートし、その背景に貧困の問題があることから、貧困問題に取り組み始めた。その後、貧困をかかえた人の中に、子どもの頃から困難をかかえた人が多いことに気づき、子どもの貧困問題に取り組むようになった。

入場無料です、どなたでも参加できます。  
興味のある方はぜひ、お出かけください。

くにしげ秀明です

よろしく

おねがいします



十一日、原発ゼロを  
求める行動が全国各地  
であり、私も集会・パ  
レードに参加しました。  
東京では首都圏反原  
発連合が呼びかけて

占拠」が開催されまし  
たが、ひどかったのが  
東京都の対応です。  
都が日比谷公園の使  
用を認めなかったため

デモは中止になりまし  
た。  
そんななか、前日弁  
連会長の宇都宮健児氏  
が九日、「東京から脱  
原発を」と都知事選へ  
の出馬を表明されたの  
は、うれしいニュース  
でした。

「反原  
発100  
000人

デモは中止になりまし  
た。  
そんななか、前日弁  
連会長の宇都宮健児氏  
が九日、「東京から脱  
原発を」と都知事選へ  
の出馬を表明されたの  
は、うれしいニュース  
でした。

## 日本の巨大メディアを考える ②6 志位和夫

「民間政治臨調」は、その後、1999年に「21世紀臨調」(「新しい日本をつくる国民会議」)名前を変えていきます。その「趣意書」を見ると、「国のあり方の改革と未完の政治改革とを『車の両輪』と位置づけて活動を始める」と書いてあります。このように国家改造の「運動体」であることが公然と宣言して活動をおこなってきた。「未完の政治改革」は、のちに「だんだんと具体化されてくるわけですが、「二大政党づくり」の動きとなりました。財界と一体になって、2002年から2003年に本格的にはじまる「二大政党づくり」、「政権選択選挙」という大キャンペーンを、巨大メディアはあげておこないました。

「21世紀臨調」とはどういう構成かと調べますと、155人の運営委員のうち73人が大手メディアの関係です。「物語で読む21世紀臨調」によると、「21世紀臨調」とは、「何よりも改革実現のために運動体」であり、「(数々の提言を)公表するにとどまらず、マスメディアを通じて日常的な世論形成を行い、...改革を具体化し実現していくことに最大の力点が置かれた」とあります。巨大メディアを、自分たちに都合のよい世論形成の手段として利用することが、あからさまにのべられています。

こうして、日本における巨大メディアと権力との癒着、一体化は、行きつくところまでいった観があります。